

# Linux 概説 (2)

ファイルとディレクトリ

---

はしもとじょーじ

# Linux におけるデータ管理

---

すべてはファイルとして管理される

- **ファイル**

任意のデータに名前をつけ保存したもの

- アプリケーション、周辺機器もファイルとして管理される

ファイルはディレクトリで階層的に管理される

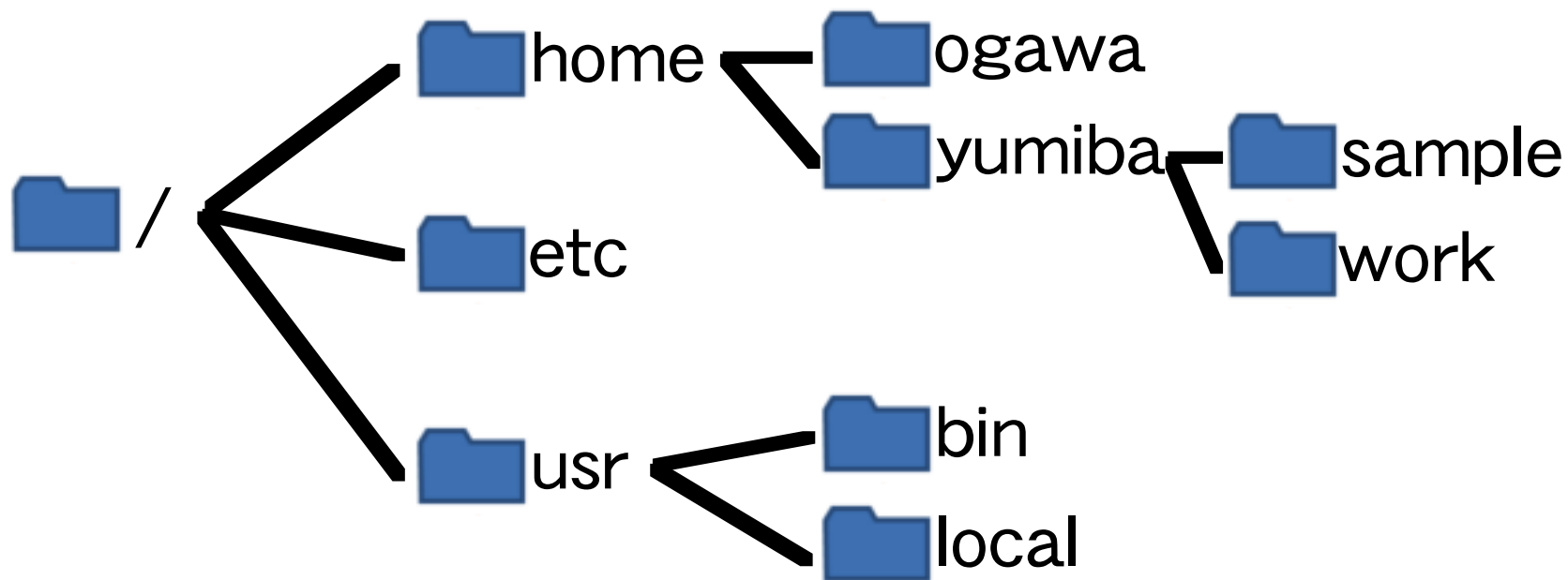
- **ディレクトリ**

ファイルを格納するファイル

# ディレクトリの階層構造

---

“/” ルートディレクトリを起点とした階層構造



ファイルやディレクトリを意味のあるまとまりにして整理する

# ホームディレクトリ

---

ホームディレクトリはユーザが自由に使用できる領域

- 各ユーザはそれぞれのホームディレクトリを持つ
- 通常、 /home の下にユーザー名のディレクトリが用意される

# カレントディレクトリ

---

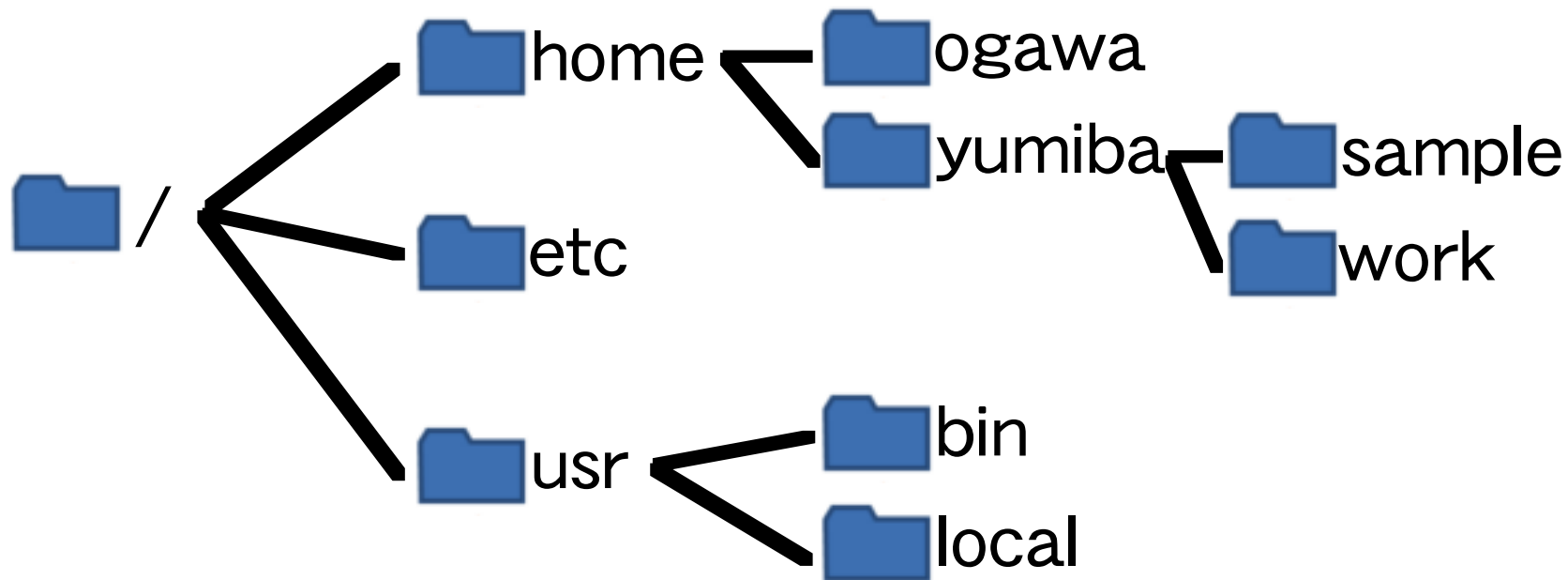
## 現在ユーザが作業しているディレクトリ

- カレントディレクトリを変更するときは、  
コマンド “cd” を用いる

# 親ディレクトリ

---

階層構造において、ひとつ上のディレクトリ



# ファイルを指定する方法

---

## 絶対パス

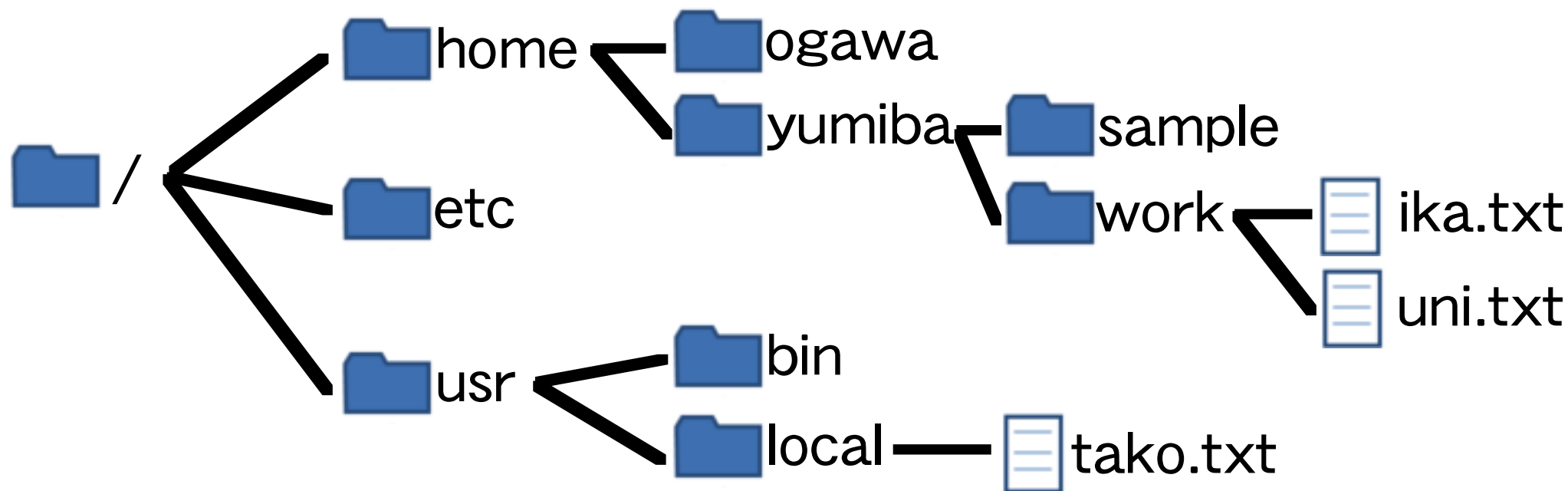
ルートディレクトリを起点にして指定する

## 相対パス

カレントディレクトリを起点にして指定する

# 絶対パスによるファイルの指定

---



## ファイル“ika.txt”を指定する場合

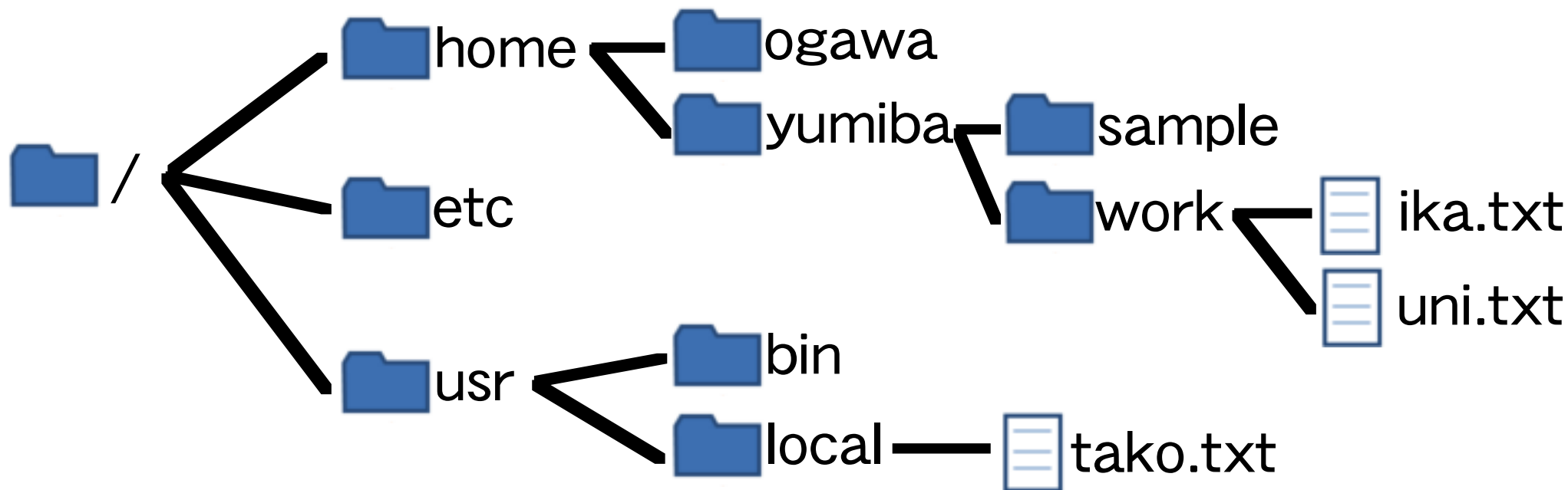
道順： / → home → yumiba → work → ika.txt

結果： /home/yumiba/work/ika.txt



# 絶対パスによるファイルの指定

---



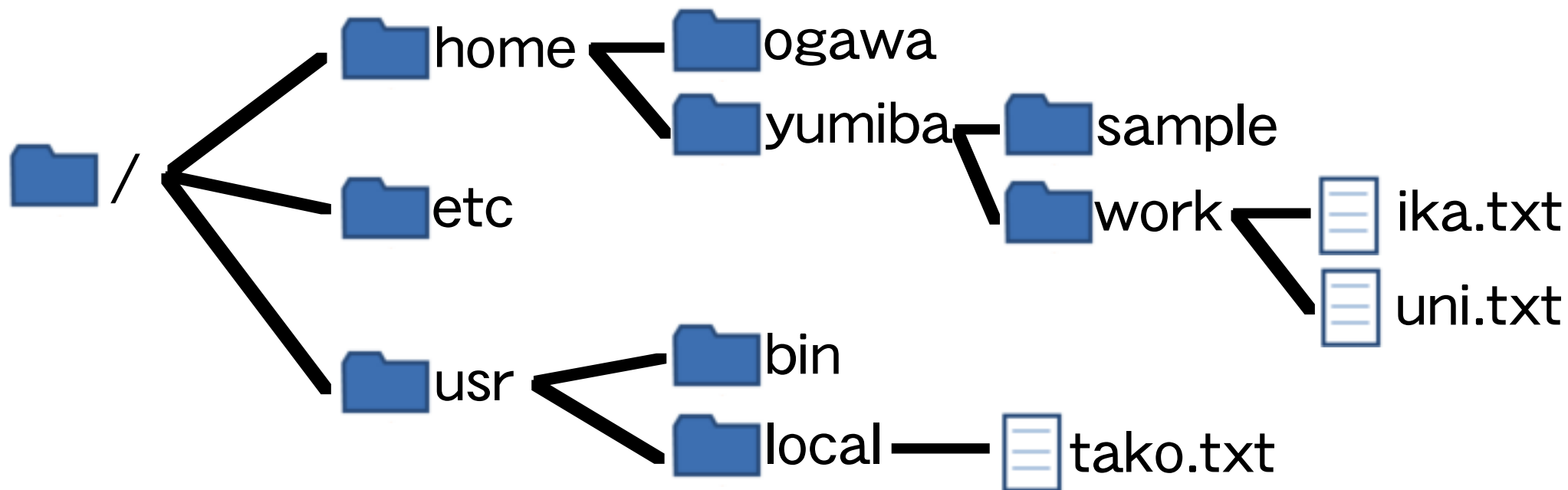
ファイル“ika.txt”を指定する場合

ホームディレクトリ = “~”

結果： ~/work/ika.txt

# 相対パスによるファイルの指定

---



“.” (ドット)

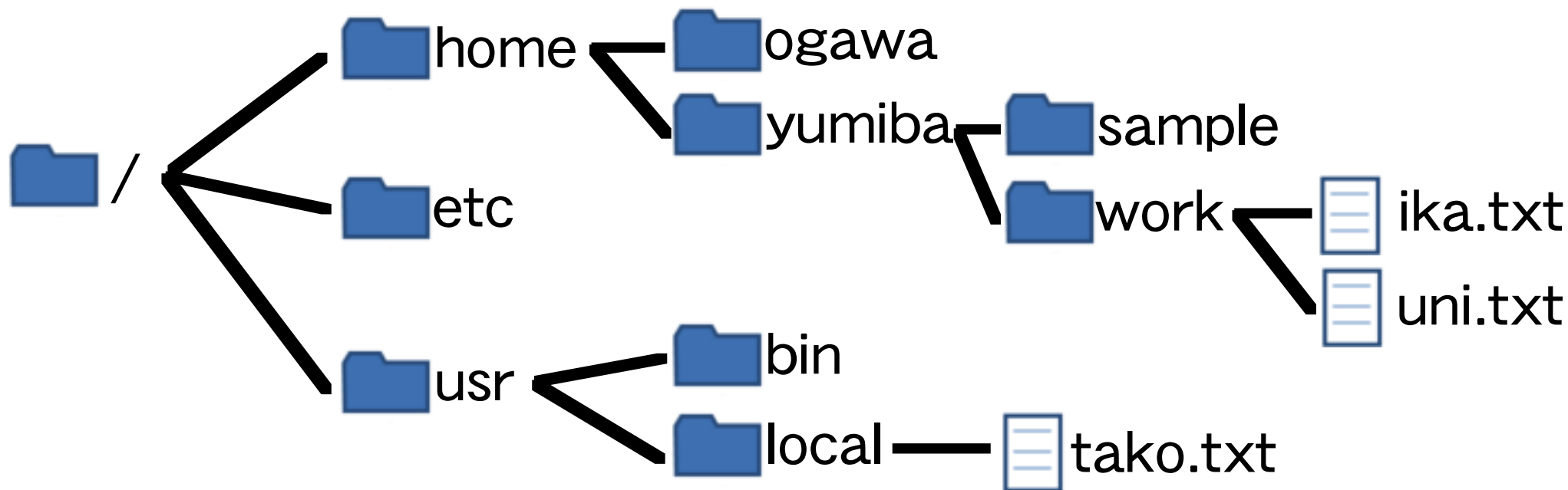
カレントディレクトリ

“..” (ドットドット)

(カレントディレクトリの)  
親ディレクトリ

# 相対パスによるファイルの指定

---



## ファイル“ika.txt”を指定する場合

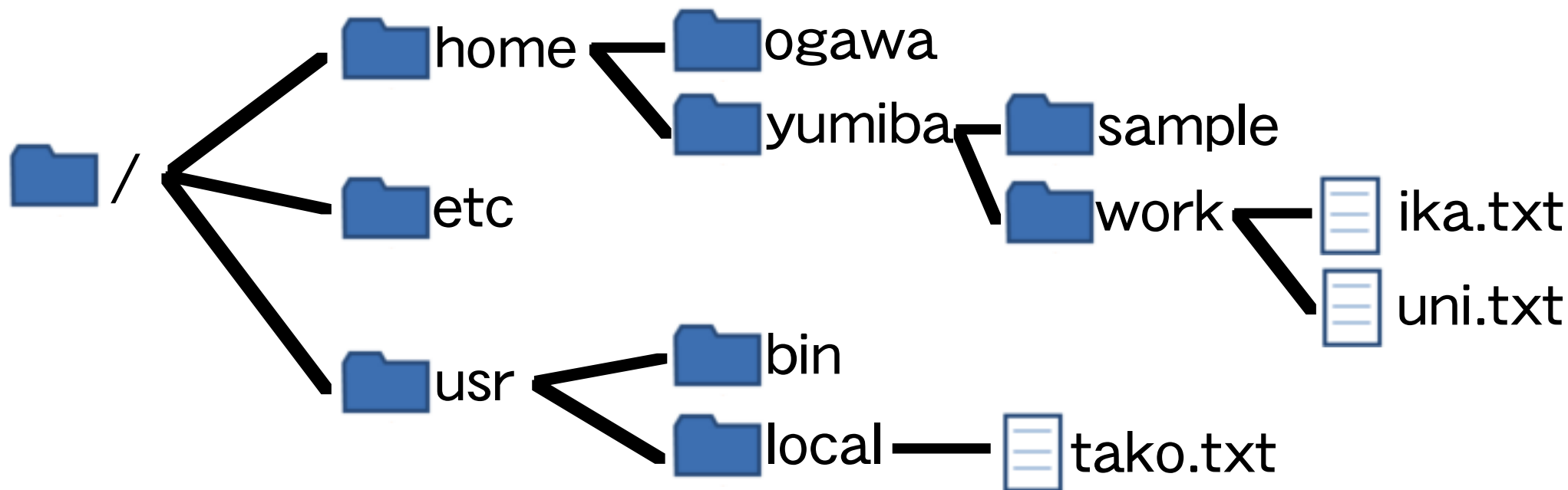
現在のディレクトリ=“/home/yumiba/sample”

道順： sample → yumiba → work → ika.txt

結果： ../../work/ika.txt

# 相対パスによるファイルの指定

---



ファイル“ika.txt”を指定する場合

現在のディレクトリ=“/usr/local”

結果： ./../../home/yumiba/work/ika.txt